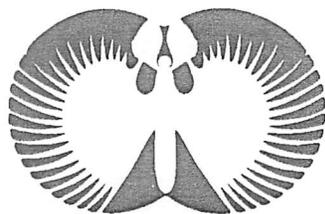


ロックガーデン



観察日 / 年 月 日 (曜日)

天気 /

 **広島市植物公園**

〒731-5156 広島市佐伯区倉重三丁目 495

電話 (082)922-3600

① ロックガーデンの見どころ

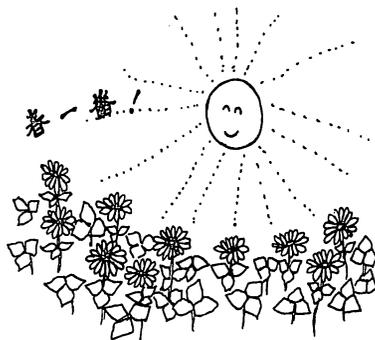
ロックガーデンとは、岩や石などを用いて作られた庭園で、主として高山植物、山野草類を自然に近い状態で楽しむところ。当園のロックガーデンの見どころは、次の3点です。



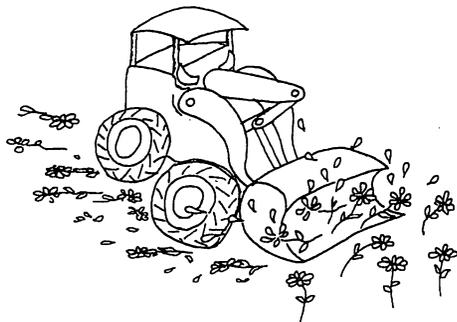
① 高山植物

しんどい登山をしなくても見ることができるよ。

② 四季の山野草



③ 絶滅が心配される植物



自生地が壊されたり
人に採られたりして
減少している植物

こうざんしょくぶつ

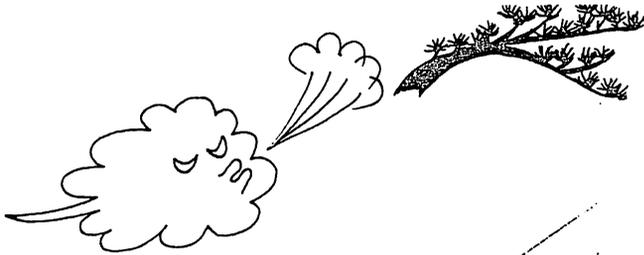
2 高山植物

富士山やアルプスのような高い山に登ると、ふもとに比べて風が強く、寒さも厳しい世界が広がっています。このような世界で生活する植物のしくみをみてみましょう。

① しなやかな幹、枝

どんなに強い風が吹いても、
どんなに雪が積もっても、
折れないで曲がる。

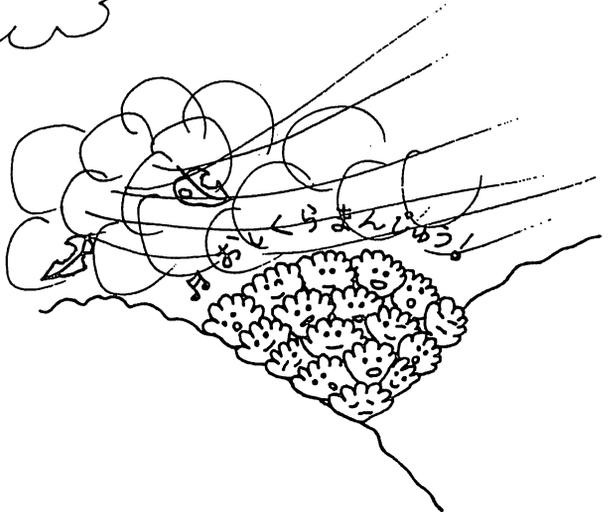
(例: ハイマツ)



② クッションの形

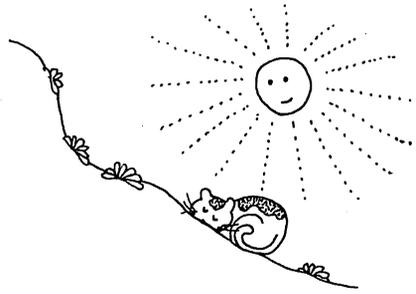
芽がかたまってつき、強い
風や乾燥から身を守る。

(例: シコタンソウ)



③ 地面近くで生活する

地面に近いと、太陽が照れば
 比較的^{ひかくてきおんど}温度^あが上がる^{かぜ}、風^ああたり
 が弱まる^{よわ}、無理^{むり}に大きな^{むり}体^{おお}を作^{からだ}ら
 らなくていいので^{つく}やせた^と土地^ちでも
 生育^{せいよく}できる^{とう}、等^{とう}のメリッ^つトが
 ある。



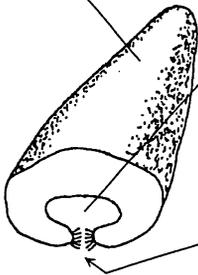
④ 葉が毛や膜(クチク
 ラ層)で覆われる

葉の表面^はから^{ひょうめん}、水^{みず}が失^{うしな}われにく
 くして、乾燥^{かんそう}から身^みを守^まし。

⑤ 葉の縁^はが裏側^{ふち}に巻^{うらがわ}き
 込む

葉^はの空^{くう}気^きの出^で入^いり口^{くち}を外^{がい}気^きに
 直接^{ちよくせつ}さらさないように^{かんそう}し、乾燥^{かんそう}
 を防^{ふせ}ぐ。

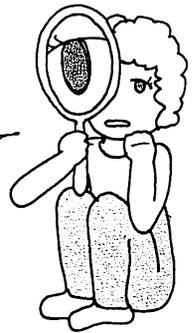
クチクラ層^{そう}に覆^{おお}われて、
 テカテカ光る。



葉^はの下^{した}側^{がわ}に中^{ちゆう}空^{くう}があつ
 て葉^はが呼^こ吸^{きゆう}するた^め
 めの口^{くち}(気^き孔^{こう})は、こ
 の面^{めん}にだけある。

これは普通^{ふつう}じゃ
 観^{かん}察^{さつ}できな^いね

中^{ちゆう}空^{くう}と外^{がい}気^きがつな
 がる所^{ところ}には毛^けがた
 くさん生^はえている。

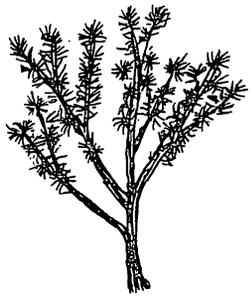


ガンコウランの葉^はの断^{だん}面^{めん}

この他^{ほか}に、乾燥^{かんそう}や礫^{れき}の移^い動^{どう}に耐^たえるこ^とがで^きるよ^うに根^ねが長^{なが}く太^{ふと}い、冬^{ふゆ}
 に細^{さい}胞^{ほう}内^{ない}の糖^{とう}を濃^こくして体^{からだ}が凍^{こおり}りにく^くする、な^どのよ^うに、植^{しょく}物^{ぶつ}は高^{こう}山^{ざん}
 で生^いきるた^めに様^{さま}々^{ざま}なしく^みをも^ってい^ます。

ひろしまし、ほんば、こうざんちたい、くら、かぜ、よわ、おんど、たか
 広島市は、本場の高山地帯と比べれば、風は弱いし温度も高くなっています。
 したがって、ここの高山植物の様子は、典型的な姿とは一味違います。

(1) 風が弱いので、ハイマツの枝が上に向かって伸びている。



(2) 寒さ、乾燥から身を守るためのクッション型の形が、ここでは裏目に出て蒸れを招いてしまう。したがって梅雨時や夏にクッション型の植物の下葉が枯れていることが多い。



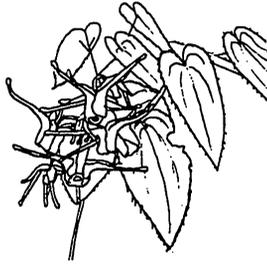
しょか、かふわ、かふもと
 初夏に株分けしたり株元に
 礫を敷いたりして下葉が枯
 れるのを防ぐことがある。

こうざんしょくぶつ、そだ、くふう
 高山植物を育てるためのロックガーデンの工夫

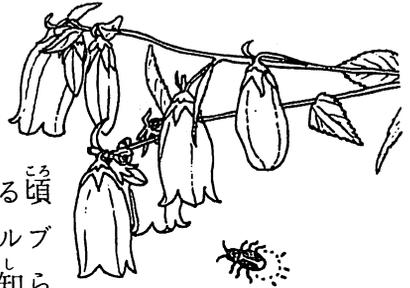
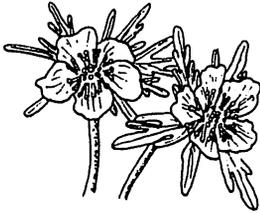
- ★東斜面に作り、西日が当たりにくくしている（一般に西日は暑い）。
- ★水はけのいい用土を用いて、植物の根が蒸れるのを防いでいる。
- ★石の温度を下げるために、スプリンクラーで霧状の水が散布できるよ
うになっている。

3 しき さんやそう 四季の山野草

はる おとが まさき つげ
春の訪れを真っ先に告げ
てくれるのが、ユキワリ
イチゲ、セツブンソウ、
フクジュソウ
(2月中旬頃)



はるほんばん
春も本番になると、イ
カリソウの仲間や、オ
キナグサが花を咲かせ
ます。(4月上～中旬)



ホタルが飛び始める頃
から咲くのがホタルブ
クロ。夏の到来を知ら
せませす。

(6月下旬～7月)

キキョウ、オミナエシな
どが咲き始めると、暑さ
の中にも秋の気配
(8～9月)

くさきのふゆがすがためだち
草木の冬枯れの姿が目立ち始
める頃、イソギクやサツマノ
ギクが満開になります(11月
下旬)



ぜつめつ しんぱい しょくぶつ
4 絶滅が心配される植物

① サクラソウ

春は日当たり良く、夏は草木の陰になる冷涼な湿地に自生。昔は下草刈りが行われる原野にも群生がみられた。人々の生活様式の変化に伴い下草刈りが行われなくなった上に、開発などによって自生地はすっかり減った。趣味栽培のための盗掘も野生のサクラソウの減少に拍車をかけている。



4月下旬に開花します。

② タコノアシ

果実の形がタコノアシの吸盤に似ているので、名付けられた。川岸に生え決して弱い植物ではないが、護岸工事などのために自生地が失われて全国的に減少している。かつては広島市内の太田川河口でもみられたというが、現在、広島県内で確認されているのは、福山市内の自生地のみである。

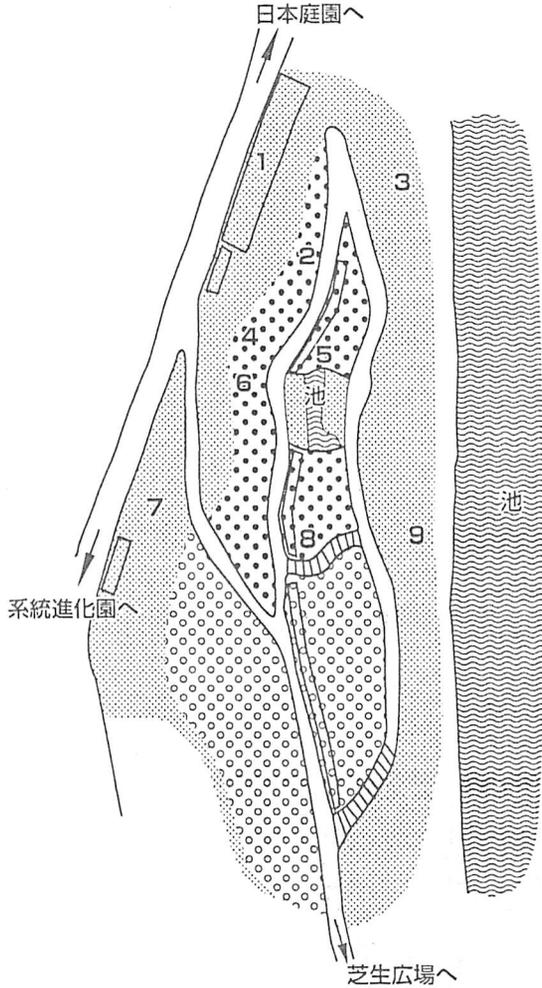


10月頃、果実ができます。

改訂増補牧野新日本植物図鑑より作図

えん ない かん さつ 園内観察マップ

場所	植物名
1	ユキワリイチゲ セツブンソウ フクジュソウ
2	イカリソウの仲間
3	キキョウ、オミナエシ
4	ガンコウラン
5	ホタルブクロ
6	ハイマツ
7	イソギク、サツマノギク
8	シコタンソウ
9	サクラソウ タコノアシ



場所	栽 栽 区 名
	日本の高山植物と 山野草
	世界の高山植物と 山野草
	山野草

学校名	
学 年	年 組
名 前	